

# LONGINES

The Longines logo, featuring a stylized winged hourglass, is positioned centrally below the brand name.

INSTRUCTION MANUAL / 取扱説明書

ロンジンをとお選びいただきましてありがとうございます。ロンジンウォッチ、卓越した技術力とタイムレスなエレガンスが認められ、さらにブランドの長年のノウハウが息づいています。

**La Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.**は、保証書に定められた条件に基づき、ご購入日よりロンジン®腕時計の保証期間を2年間、2021年1月1日以降にご購入いただいた機械式時計の保証期間を5年間とします。全ての時計のプレスレットには、素材または製造上の欠陥について2年間の国際保証が適用されます。ロンジンの国際保証は、ご購入いただいたロンジンウォッチのお届け時に存在している欠陥パーツおよび製造上の欠陥を保証します。ロンジンの正規販売店が保証書に日付を入れ、必要箇所が完全に記入された場合のみ保証が有効になります。保証期間中に有効な保証書をご提示いただくと、保証対象のすべての不具合の修理を無償で受けていただくことができます。お持ちのロンジンウォッチの通常の使用状態が修理によって修復されない場合、Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.は、同一のロンジンウォッチまたは類似の特性を持つものと交換することをお約束します。交換した時計の保証は、交換した前の時計の保証期間が終了した時点で終了となります。

#### この保証において以下は対象外となります:

- 通常の消耗と経年変化 (例: ケースおよび/またはクリスタルの傷、ケース、革ストラップ、布製ストラップ、ラバーストラップ、その他非金属製ストラップ、PVDコーティングの変色、素材の変質、ブロンズの着色など)。
- 不適切な使用、乱用、不注意、過失、事故 (打撃、へこみ、潰れ、ガラス破損、プレスレット

交換時にできた傷など)、取扱説明書に従わないことによる時計の損傷。

- ロンジンウォッチの使用、不具合、欠陥、精度の欠如に起因するいかなる種類の間接的または結果的な損害。
- ロンジンから認定を受けていない人がロンジンウォッチに手を加えた場合 (例えば、電池交換、サービスや修理) や、Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.のコントロールの及ばない範囲で元の状態が変更されていた場合。

Compagnie des Montres Longinesに対する他のすべての請求 (例えば本保証書に規定されているもの以外の損害賠償など) は、購入者が製造者に対して主張できる法的な権利を除き、明確に除外されています。

#### このメーカーの保証書は:

- 販売者が提供するあらゆる保証とは無関係であり、販売者が単独で責任を負います。
- 販売者に対する買い手の権利、または買い手が販売者に対して有するその他の強制的な権利に影響を与えません。

Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A. のカスタマーサービス部門は、ロンジンウォッチに最適なメンテナンスをお約束します。時計のお手入れが必要な場合は、ロンジン正規販売店または当社ウェブサイト [www.longines.com](http://www.longines.com) に掲載されているロンジン正規サービスセンターにお任せください。Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A. の基準に沿ったサービスを保証いたします。

\* Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A., CH-2610 Saint-Imier, Suisse. ロンジン®は登録商標です。

ロンジンウォッチをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ロンジンウォッチを初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いになるようお願いいたします。お手持ちの時計の詳細情報や複雑機構が搭載されている時計の情報につきまして、当社のウェブサイト [www.longines.com/instruction-manual](http://www.longines.com/instruction-manual) にログインするか、QRコードをスキャンいただくことで、詳細情報やチュートリアルにアクセスすることができます。






## 防水性に関する注意点

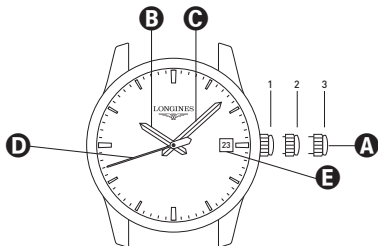
時計の防水性はパッキンの乾燥による劣化や、誤ってリュースに衝撃を与えた場合に影響を受けることがあります。時計の防水性を維持するために、海水に触れた後は真水で洗い流し、年に一度はロンジンの正規サービスセンターで時計の防水性を点検していただくことをお勧めします。絶対に時計をご自身で開けないようお願いいたします。

**重要事項！** 水中では時刻設定用のリュースおよびプッシュボタンを絶対に作動させないでください。また、水に浸かる前にリュースとプッシュボタンが完全に押し込まれ、またはねじ込まれていることをご確認ください。

国際保証書	2
防水性能	3
時刻の設定	4
ロンジン保証カード	5

ケースバックの表示	意味*
なし	非防水仕様
3 bar 	3 気圧 (30 m) までの防水仕様*
5 bar 	5 気圧 (50 m) までの防水仕様*
10 bar 	10 気圧 (100 m) までの防水仕様*
30 bar 	30 気圧 (300 m) までの防水仕様*

\*メートル単位の防水深度は ISO 22810 に基づいて適用される超過圧力と同程度ものとなります。



**A** リューズ

**D** 秒針

**B** 時針

**E** 日付表示

**C** 分針

時、分、秒、日付表示を備えています。

### ねじ込み式リューズ

一部のロンジンのモデルには、ねじ込み式リューズが装備されており、時刻の設定やゼンマイを巻き上げる前、反時計回りに回してねじを外しておく必要があります。設定した後、リューズをポジション **1** に戻してから押し込み、時計の防水性を確保するためにしっかりとねじ込みます。

### 時刻の設定：

秒針が60になったところでリューズをポジション **3** まで引き出します。目的の時間が表示されるまで、リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。時刻が同期したら、すぐにリューズをポジション **1** に押し戻します。

午後 8 時から午前 3 時までの間は絶対に日付のクイック修正を行わないでください。

### 日付のクイック修正

リューズをポジション **2** まで引き出し、目的の日付が表示されるまで反時計回りに回します。時計はこの操作を行っている間も作動し続けるため、再設定する必要はありません。31 日未満の月は、月末に手動で日付の修正を行う必要があります。その後、リューズをポジション **1** に押し込みます。時針が 0 時を過ぎると日付が変わります。

時計の保証書にありますがQRコードをスマートフォンのカメラでスキャンすると、ロンジンのホームページにアクセスできます。33カ国語で利用可能なお使いの時計の特定の取扱説明書、メンテナンスアドバイス、保証条件などが記載されています。



これらの情報は、この取扱説明書に記載されているQRコードまたは[www.longines.com/instruction-manual](http://www.longines.com/instruction-manual)と入力することでアクセスできます。

**LONGINES**

The Longines logo, featuring a stylized winged hourglass, is positioned centrally below the brand name.

[www.longines.com/instruction-manual](http://www.longines.com/instruction-manual)